



松田大臣 瑞浪超深地層研究所を視察

平成18年7月31日、松田岩夫科学技術政策担当大臣が瑞浪超深地層研究所を視察されました。深度約100mにある主立坑（内径6.5m）と換気立坑（内径4.5m）をつなぐ水平の坑道（「予備ステージ」といいます）をご視察いただきました。

ご視察終了後には松田大臣より「視察を通じて所員一丸となって研究を進めていることを強く感じた。これからも頑張ってもらいたい」との激励のお言葉をいただきました。



予備ステージご視察（中央 松田大臣）

来月の主な作業予定（9月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水継続
- ②主立坑（180m）と換気立坑（191m）の底からのボーリング（8月21日現在）
（主立坑：掘削長約90/340m 換気立坑：掘削長約83/330m）
- ③既存ボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔）での水圧などの長期観測
- ④深度100mの水平の坑道における地下水の水圧・水質の観測
- ⑤狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑥研究坑道の排水に伴う環境管理測定
- ⑦表層水理観測（気象観測、傾斜量の観測など）

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

環境保全協定書に基づく調査結果は地層研ニュース裏面に掲載しています。

※測定は毎月1回の予定です。また、調査結果は毎月ホームページでも紹介しております。

ホームページアドレス：http://www.jaea.go.jp/O4/tono/anzen/miu_sokutei/sokutei.html



地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記までお問合せください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターホームページ：<http://www.jaea.go.jp/O4/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課（青木、木内、福島）

第6回跡利用検討委員会を開催しました

平成18年8月1日、第6回超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました。この委員会は、岐阜県、瑞浪市、土岐市及び両市の議会代表、学識経験者、地域の代表、原子力機構の役職員などで構成されており、超深地層研究所における地層科学研究が終了した後の施設の跡利用について検討する委員会です。

今回の委員会では、原子力機構より瑞浪超深地層研究所の現状と施設の活用方策の実施状況をご報告しました。委員会では、報告内容について様々な貴重なご意見をいただきました。また、委員の皆様方には研究所をご視察していただきました。



予備ステージの見学の様子

深度100mの予備ステージの活用方策の実施状況

①地層観察窓



②地下水の採水・分析



- ③宇宙線の測定
- ④研究成果の原位置での展示
- ⑤地下環境の体験

地上施設における活動状況

①深度60m以深10m毎の岩石展示



②立坑壁面の表示システム



③見学・体験・実験



地層・断層ツアーの様子 研究所ツアーの様子 スーパーサイエンスワールドの現場見学の様子 一般見学会の坑内見学の様子

委員会でもいただいた主な意見

- ・立坑壁面の表示システムの報告があったが、地下におりるためのエレベーターに取り付け、見ながらおりにいけるよう考えてもらいたい。
- ・最終的な跡利用とこれまでやってきたことをどう連携させるか、将来的な展開をある程度考えた中で進めていく必要がある。

今後の進め方

- ・研究用のボーリング孔の掘削などの作業が完了した段階で、これまでの検討結果を踏まえた活用方策の具体化を進めてまいります。
- ・今後掘削される深度200m以深の予備ステージの活用についても深度100mの予備ステージとの連携を含めて検討を進めてまいります。

歴史・史跡を歩く in みずなみ

【デスモチルス発見地】

所在地：瑞浪市明世町山野内

1898年、明世村山野内棒ヶ洞の田んぼのあぜで、世界で初めてのデスモチルスの頭骨化石が発見されました。デスモチルスはカバやジュゴンに似た感じの哺乳動物で、海苔巻を束ねたような特徴的な歯を持ち浅い海の海岸にすみ、海草や貝などを食べていたと考えられています。



デスモチルス発見地

瑞浪超深地層研究所を見ませんか？

瑞浪超深地層研究所の見学会を下記のとおり開催いたします。希望される方はお手数ですが9月21日（木）までに住所、氏名、電話番号、長靴のサイズをお知らせの上、お申し込みください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともあります。なお、見学会は今後とも毎月定期的開催する予定です。

- ①開催日時：平成18年9月24日（日）9:30～11:30
- ②対象：小学校4年生以上（工事現場での安全性の確保のためご協力ください）
- ③申込み先：0572-66-2244（地域交流課まで）〔FAX〕0572-66-2124
〔E-mail〕tono-ck@jaea.go.jp

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません。

パソコン教習コーナーのご案内

瑞浪超深地層研究所では、パソコン教習コーナーを下記のとおり開催しています。参加希望の方は、日時、人数、お名前を地域交流課までお知らせください。なお、都合により日時の変更をお願いすることがありますのでご承知おきください。

- ①期間：平成19年3月までの平日（9:00～17:00まで）
- ②場所：瑞浪超深地層研究所 管理棟 展示スペース
- ③内容：パソコンの基本操作など（1～2時間程度を予定）
- ④申込先：0572-66-2244（地域交流課まで）〔FAX〕0572-66-2124
〔E-mail〕tono-ck@jaea.go.jp

※お知らせいただいた氏名等の個人情報はパソコン教習コーナーの目的以外には使用いたしません。

瑞浪国際地科学交流館 ミニギャラリーの9月の展示案内

ミニギャラリーでは、「福岡陶芸サークル陶芸展」（仮称）としまして「陶芸」作品の展示を開催いたします。是非、交流館へ足を運びください。

- 【期間】平成18年9月1日（金）～10月1日（日）10:00～21:00
- 【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間 36-8
- 【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日の場合でも休館となります）

「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」 第2条に基づく排水水等の測定結果（平成18年7月分）

【採取日：平成18年7月4日】

単位：mg/l（水素イオン濃度はpH）

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.0	6.9
浮遊物質	25以下	1未満	5
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず
有機機化合物	検出されないこと	検出されず	
有機磷			
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず
トリクロル	0.03以下	0.002未満	0.002未満
テトラクロル	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
ジクロル	0.02以下	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロル	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロル	1以下	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロル	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロル	0.02以下	0.002未満	0.002未満
1,1,2-ジクロル	0.04以下	0.004未満	0.004未満
1,3-ジクロル	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.4	0.3
ふっ素	0.8以下	0.3	0.1
ほう素	1以下	0.02未満	0.02未満
塩化物イオン			
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.46	

※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の溶出量（主立坑）	※4 掘削土の溶出量（換気立坑）
9.3	7.0		
	5		
0.001未満	0.001未満	—	—
検出されず	検出されず	—	—
0.005未満	0.005未満	—	—
0.04未満	0.04未満	—	—
0.005未満	0.005未満	—	—
0.0005未満	0.0005未満	—	—
検出されず	検出されず	—	—
検出されず	検出されず	—	—
0.002未満	0.002未満	—	—
0.0005未満	0.0005未満	—	—
0.0002未満	0.0002未満	—	—
0.002未満	0.002未満	—	—
0.0004未満	0.0004未満	—	—
0.0005未満	0.0005未満	—	—
0.0006未満	0.0006未満	—	—
0.002未満	0.002未満	—	—
0.004未満	0.004未満	—	—
0.0002未満	0.0002未満	—	—
0.0006未満	0.0006未満	—	—
0.0003未満	0.0003未満	—	—
0.002未満	0.002未満	—	—
0.001未満	0.001未満	—	—
0.002未満	0.002未満	—	—
0.27	0.2		
9.4	0.1未満	—	—
1.5未満	0.02未満	—	—
150			

注意：□は※4参考値となります。

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素・ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。
 ※2 狭間川上流は排水水が流れない場所での採水のため、値は狭間川の河川の値となります。
 ※3 溶出量とは水の中に溶け出した物質の量のこと。当該月（7月）は掘削作業を行っていないため掘削土の測定はありません。
 ※4 □は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。